

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科		看護学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習	
科 目 名		小児期の患児への援助技術		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		2年次		学期及び曜時限	後期	教室名	各教室
担 当 教 員		藤原由香 他	実務経験と その関連資格	総合病院で看護師として勤務			
《授業科目における学習内容》							
子どもへの検査・処置についての看護的な知識・技術を学ぶ。							
《成績評価の方法と基準》							
提出物(15%)、出席状況(5%)、筆記試験(80%)で評価する。							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
系統看護学講座 小児看護学概論・小児臨床看護総論 小児看護学① 医学書院 系統看護学講座 小児臨床看護各論 小児看護学② 医学書院 根拠と事故防止からみた小児看護技術 医学書院							
《授業外における学習方法》							
これまでの講義で学習した関連項目(解剖生理、病態と治療、薬理学、小児看護学で学んだ小児の特徴や看護など)を復習する。							
《履修に当たっての留意点》							
教科書を用いて予習・復習を行い、自ら学ぶ姿勢を持ち、主体的に参加すること。また、演習や個人ワークも計画的に進めること。							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	子どもの成長発達をふまえたコミュニケーションや遊びについて述べる ことができる		教科書 AV機器他	小児看護の成り立ちと考え 方で学んだ乳幼児期の特 徴について予習する。	
		各コマにおける授業予定	コミュニケーション、遊び				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	子どもの成長発達をふまえた日常生活援助について述べる ことができる		教科書 AV機器他	小児看護の成り立ちと考え 方で学んだ乳幼児期の特 徴について予習する。	
		各コマにおける授業予定	日常生活援助				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	子どもの各系統のアセスメントのポイントを述べる ことができる		教科書 AV機器他	身体計測の方法、子どもの 成長・発達、この授業に 関連する形態機能の特 徴について予習する。	
		各コマにおける授業予定	身体的アセスメント(身体計測、一般状態、眼、耳、顔面、口腔)				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	子どもの各系統のアセスメントのポイントを述べる ことができる		教科書 AV機器他	子どもの成長・発達、この 授業に関連する形態機能 の特徴について予習する。	
		各コマにおける授業予定	身体的アセスメント(呼吸、循環、腹部)				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	子どもの各系統のアセスメントのポイントを述べる ことができる		教科書 AV機器他	子どもの成長・発達、この 授業に関連する形態機能 の特徴について予習する。	
		各コマにおける授業予定	身体的アセスメント(筋骨格系 神経系、生殖器系)				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	子どもの各系統のアセスメントのポイントを述べることができる	教科書 AV機器他	子どもの成長・発達、この授業に関連する形態機能の特徴について予習する。
		各コマにおける授業予定	身体的アセスメント(リンパ系、外皮系) 入院中の子どもと家族の特徴		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	入院や外来という人的・物的環境が子どもや家族に与える影響を考慮することができる	教科書 AV機器他	入院や外来における子どもと家族の特徴について予習する。
		各コマにおける授業予定	入院中の子どもと家族の看護 外来における子どもと家族の看護		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	子どものバイタルサイン測定の特徴と方法・工夫について理解し、技術を習得することができる	教科書 AV機器他	子どものバイタルサイン測定についてテキストを読み予習しておく。
		各コマにおける授業予定	バイタルサインの測定		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	プレパレーションの背景やプロセスを述べることができる	教科書 AV機器他	以前の授業で学んだ入院や外来における子どもと家族の看護を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	プレパレーションの理論と実際		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	検査・処置を受ける子どもの看護のポイントを述べることができる	教科書 AV機器他	薬物動態やこれまでの授業で学んだ内容を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	1) 検査・処置を受ける子どもの看護 2) 薬物療法を受ける子どもの看護①		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	検査時に子どもの感じる心理的苦痛・身体的苦痛をイメージできる	教科書 AV機器他	薬物動態や水分バランスなど授業で学んだ内容を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	1) 子どもの採血、子どもの拘束、隔離、活動制限と看護 2) 骨髄穿刺、腰椎穿刺(講義)		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	子どもの経管栄養、排泄、安楽な呼吸の援助を述べることができる モデル人形を用いて発達段階に応じた胸骨圧迫ができる	教科書 AV機器他	看護技術で学んだ内容を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	経管栄養 安楽な呼吸への援助(酸素・吸入・吸引) 気道の異物除去、子どもの救命救急 - 胸骨圧迫(演習)		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	検査時に子どもの感じる心理的苦痛・身体的苦痛をイメージできる モデル人形を用いて男児・女児の採尿バッグの貼り方ができる	教科書 自己で作成したワークシート AV機器他	教科書の演習予定の範囲を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	検査時の看護 - 検尿(演習)、骨髄穿刺、腰椎穿刺(固定の演習)		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	演習を通してプレパレーションの実際をイメージできる	教科書 AV機器他	授業で学んだ内容を復習する。
		各コマにおける授業予定	プレパレーションの実際		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	単位のまとめとして、学習してきた内容から患児への援助技術を説明することができる	教科書 AV機器他	これまでの学習内容を復習し、まとめておく。
		各コマにおける授業予定	まとめ		